

【 共通科目 】(スクールリーダーシップ開発専攻、教科教育専攻)

(平成30年度入試の問題)

問題は「教育原理に関する問題」が2問、「教育心理に関する問題」が2問あります。  
全ての問題を解答しなさい。

(以下、問題)

共通科目 ( 「教育原理に関する問題」 )

4枚のうち1枚目

問題1 次の ( ) の中にあてはまる適切な用語を、次ページに示した選択肢の中から一つ選び、その事項の記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 教育基本法(平成18年12月22日法律第120号)の第8条は、「私立学校の有する ( ① ) の性質及び学校教育において果たす重要な役割にかんがみ、国及び地方公共団体は、その ( ② ) を尊重しつつ、( ③ ) その他の適当な方法によって私立学校教育の振興に努めなければならない。」と定めている。

(2) コミュニティ・スクールには、学校運営協議会が設置されている。学校運営協議会は元々、イギリスの学校理事会を参考に構想された。日本の学校運営協議会の権限は、イギリスの学校理事会に比べて ( ④ )。学校運営協議会の主な役割は、校長が作成する学校運営の ( ⑤ ) を承認すること、学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べるができること、( ⑥ ) の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができることである。学校運営協議会の委員は、当該の学校の所在する地域の住民、学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者、地域学校 ( ⑦ ) 活動推進員その他の学校の運営に資する活動を行う者、その他教育委員会が必要と認める者について、教育委員会が ( ⑧ ) する。学校運営協議会の設置は ( ⑨ ) 義務化されており、文部科学省はコミュニティ・スクールの導入を推進している。

（3）人工知能や情報技術の発展に象徴される、第 4 次産業革命が到来しつつある。このような社会変化を見通して、（ ⑩ ）年 3 月に学習指導要領が公示された。この学習指導要領でも、以前と同じように（ ⑪ ）が理念として掲げられている。そして教科内容に関する知識だけでなく、（ ⑫ ）の習得を重視するようになった。このため授業では、どのように学ぶかが意識されるようになり、「主体的・（ ⑬ ）的で（ ⑭ ）学び」の実現が目指されることになった。子どもたちが習得できる資質・能力を想定しながら、学習の内容と方法を、「カリキュラム・（ ⑮ ）」を通じて組織的に組み立てていくことが、各学校の特に校長、教務主任、研究主任に求められる。

- |            |         |           |
|------------|---------|-----------|
| （ア）学ぶ力     | （イ）生きる力 | （ウ）完全     |
| （エ）助成      | （オ）基本計画 | （カ）浅い     |
| （キ）教職員     | （ク）私    | （ケ）対話     |
| （コ）コンピテンシー | （サ）公    | （シ）2016   |
| （ス）テクノロジー  | （セ）制度   | （ソ）2017   |
| （タ）自主性     | （チ）大きい  | （ツ）協働     |
| （テ）努力      | （ト）基本方針 | （ナ）小さい    |
| （ニ）任命      | （ヌ）深い   | （ネ）執行     |
| （ノ）コンテンツ   | （ハ）会話   | （ヒ）考える力   |
| （フ）校長      | （ヘ）奉仕   | （ホ）指名     |
| （マ）リーダーシップ | （ミ）編成   | （ム）マネジメント |

（使わない用語もある）

問題2 A群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示したB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- (1) 人の意識的行動とそれを規制する社会構造を媒介し、知らず知らずのうちに身につけた思考や所作のパターンがある。
- (2) 教育は近代的な概念で独自のシステムがあるのに対し、いわゆる伝統社会では共同体の習俗と生活全体が子どもを一人前の大人にしていっていった。
- (3) 国家の独立は個々人の精神的・社会的な自立によって支えられているから、すべての者が学問をしなければならない。
- (4) 教育の作用は管理、教授、訓練の3部門に分かれるが、管理は教授の準備を、訓練は教授の完成を目指すもので、その中心は教授である。
- (5) 進歩主義教育の思想と実践をリードし、自由と協同が統合されたデモクラシー社会を学校を通じて実現しようとした。
- (6) 総力戦体制は就学観に大きな変更をもたらし、学齢期の子どもの就学は義務教育段階の学校に限定された。
- (7) 学術の中心である大学において、一定の基準と資格要件を充足した者に教員の免許を授与しなければならない。
- (8) 公民館は文化施設であり、町村民の機関であり、公民精神の凝結であって、施設と人と魂の結合した総合観念なのである。
- (9) 監獄や病院と並ぶ近代的な権力メカニズムの典型として学校をとらえ、主体性を引き出す規律訓練的な権力のあり方を分析した。
- (10) 学習者や教育者を能動的な変革主体をとらえ、学校のあり方を根底から省察しながら、社会的な不平等の解体と克服を目指した。

【B 群】（使わない用語もある）

- （ア）開放性の原則
- （イ）カント（Kant, I.）
- （ウ）国民学校令
- （エ）国民教育法
- （オ）しつけ
- （カ）田中耕太郎
- （キ）デューイ（Dewey, J.）
- （ク）寺中作雄
- （ケ）パーカースト（Parkhurst, H.）
- （コ）パターナリズム（paternalism）
- （サ）ハビトゥス（habitus）
- （シ）反教育学
- （ス）批判的教育学
- （セ）フーコー（Foucault, M.）
- （ソ）福沢諭吉
- （タ）ヘルバルト（Herbart, J.F.）
- （チ）目的養成の原則
- （ツ）森有礼
- （テ）ルーマン（Luhmann, N.）
- （ト）レリバンス（relevance）

問題1 A群の説明にもっとも関係の深い用語をB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- (1) パーソナリティの基礎となる生得的で変化しにくい部分。
- (2) 他者の感情状態を知覚することによって生じる、代理的な感情状態のこと。
- (3) おもに小学校の時代。
- (4) 主たる養育者との間に形成される心の絆。
- (5) 予測された能力以上の学力を示している子ども。
- (6) 子どもの質問に即座に答えられる環境のこと。
- (7) 優れた水準で物事を成し遂げようとする気持ち。
- (8) 頑張ればできる、という感覚。
- (9) 報酬の獲得を目指して学ぶ過程。
- (10) 治療者が来談者の抱える感情を批判せずに受け止めること。

【B群】（使わない用語もある）

- (ア) 誘因 (incentive)      (イ) 応答する環境 (responsive environment)  
(ウ) 共感性 (empathy)      (エ) 幼児期 (early childhood)  
(オ) 外発的動機づけ (extrinsic motivation)      (カ) 受容 (acceptance)  
(キ) 優越感 (superiority feeling)      (ク) 達成動機 (achievement motive)  
(ケ) オーバー・アチーバー (over-achiever)      (コ) 児童期 (childhood)  
(サ) アタッチメント (attachment)      (シ) 気質 (temperament)  
(ス) 自己効力感 (self-efficacy)  
(セ) 昇華 (sublimation)  
(ソ) 自己高揚 (self-enhancement)

問題2 A群の人名にもっとも関係の深い用語をB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- (1) ワトソン(Watson, J.B.)      (2) ウォルピ(Wolpe, J.)
- (3) ウェルトハイマー(Wertheimer, M.)      (4) サイモンズ(Symonds, P.M.)
- (5) オルポート(Allport, G.W.)      (6) エインズワース(Ainsworth, M.D.S.)
- (7) クレッチマー(Kretschmer, E.)      (8) ホリングワース(Hollingworth, L.S.)
- (9) ウェルナー(Werner, H.)      (10) ワイナー(Weiner, B.)

【B群】（使わない用語もある）

- (ア) 遊戯療法(play therapy)
- (イ) 行動主義(behaviorism)
- (ウ) 忘却曲線(forgetting curve)
- (エ) 系統的脱感作法(systematic desensitization)
- (オ) 心理的離乳(psychological weaning)
- (カ) 心誌(psychograph)
- (キ) 仮現運動(apparent movement)
- (ク) チャンク(chunk)
- (ケ) 原因帰属(causal attribution)
- (コ) 養育態度(child-rearing attitude)
- (サ) ストレンジ・シチュエーション法(strange situation procedure)
- (シ) 相貌的知覚(physiognomic perception)
- (ス) 類型論(typology)
- (セ) 主題統覚検査(Thematic Apperception Test)
- (ソ) 自由連想法(free association)